

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	秋田県立大学
設置者名	公立大学法人秋田県立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>次の項目をシラバスの必須記載項目とし、開講前年度中に学内委員会によるチェック作業を行い、開講年度の4月1日に公表している。</p> <p>①授業の目標 ②到達目標 ③授業の概要 ④授業の計画 ⑤授業時間外学修の指示 ⑥成績評価の方法 ⑦実務経験のある教員等による授業科目についてはその旨</p>	
授業計画書の公表方法	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目において、シラバスに「授業の目標」、「到達目標」、「成績評価の方法」を明示しており、これに応じて試験・レポート等を課して学修成果を評価し、単位を認定している。</p> <p>毎 Semester 終了後には、成績分布表をとりまとめて各教員に配付し、成績分布が適正か検討を行い、必要に応じて授業科目毎に評価基準の見直しを行い、シラバスに反映している。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPAを次のとおり定義し、ウェブサイトで公表している。

GPAは、本人に開示するとともに、教員に成績分布等の集計資料を配付し、授業科目毎に随時、成績評価方法の見直しを行っている。

$$\text{GPA} = \frac{\text{GP(Grade point)の合計}}{\text{総履修登録単位数}}$$

$$\text{※GP} = \text{当該科目の単位数} \times \frac{\text{当該科目の得点(100点満点)} - 50}{10}$$

ただし、得点が60点未満(不合格)の場合、GP=0

【算出例】

履修登録科目	単位数	得点
科目 A	2 単位	99 点
科目 B	1 単位	55 点(不合格)
科目 C	4 単位	85 点
科目 D	2 単位	75 点

履修科目 A, B, C, D の単位数と成績を GPA 算出式に当てはめると、

$$\text{GPA} = \frac{\overbrace{2 \times \frac{99 - 50}{10}}^{\text{科目 A}} + \overbrace{0}^{\text{科目 B}} + \overbrace{4 \times \frac{85 - 50}{10}}^{\text{科目 C}} + \overbrace{2 \times \frac{75 - 50}{10}}^{\text{科目 D}}}{2 + 1 + 4 + 2 \text{ (履修登録した科目の単位数の合計)}} = 3.2$$

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://www.akita-pu.ac.jp/up/files/www/student/calendar/r1_gpa.pdf

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>「学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」を全学及び学部・学科毎に定めており、これらに基づき各学科におけるカリキュラムマップの作成、各授業科目のシラバスの作成を行っている。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://www.akita-pu.ac.jp/about/policy/policy</p>